

芽高新聞

再刊322号
北海道芽室高等学校
新聞局
河西郡芽室町東めむろ
1条北1丁目6
発行責任者
五十嵐 千歳



3年B組の吉田黎
です。誕生日は9月14日
の乙女座です。好きな食
べ物はうどん、嫌いな
食べ物はトマトです。休
校期間中は映画鑑賞をし
ていました。将来の夢は
公務員で、これから始め
たいことは新しいアルバ
イトです。将来に向けて
は、公務員になるために
何をすべきなのか、その

計画を上手に立てられる
ようにして、公務員試験
に合格できるよう、受験
勉強を頑張っています。
最後に、僕は世界平和
を願っています！

全員で大会に出れなくて悲しい！

前向きに頑張ろうと思っている
(P.N.Hさん)

こんな形で終わり悔いが残る
(小岡海人さん)

I think so sad!
(P.N.元キャプテンさん)

引退した実感がない
(加納みなみさん)

～体育会系部活動～

部長達のホンネ

残念でしかない
(加藤舞桜さん)

大会の練習が無駄になり残念
(西島由奈さん)

中止は仕方ないと思った
(片石梨音さん)

練習の成果を出す舞台が無いのは悔しい
(P.N.マヨネーズうまうまさん)

残念です。
(本間すみれさん)

(阿部将大さん)

(P.N.ななちゃん)

バドミントン部

「実感が無い」



去年の高体連のバドミントン部

高体連中止について、女子バドミントン部のキャプテン、加藤舞桜さん(3D)は「大会に向けて練習してきたので実感が無い。部活動をしていて時間帯は進路活動に充てたい」と話す。顧問の鶴身幸一先生は「苦しいときはバドミントン部を思い出して、いつでも相談に来てほしい」と述べた。(五十嵐)

山岳部

「今後自然にふれて」

山岳部のキャプテン、本間すみれさん(3B)は「全員で出場する気持ちでいたのに残念」と語った。顧問の佐々木隆光先生は「やっぱりかと思った。3年生は今後も自然に触れて」とメッセージをくれた。(五十嵐)

千葉さん
菊地さん

マスク橋渡しボランティア

「良い経験になった」

(左が菊地さん、右が千葉さん)



「手助けしたいと思い参加した」という2人。この団体は今回の活動のみならず、今後も新たな活動を考えているそう。今からでも参加できるのに、気になる人は調べてみては。(奥村・長尾)

皆さんは今、十勝でマスクの橋渡しプロジェクトを行っている十勝ボランティア団体(CANPASS)を知っているだろうか。千葉日陽さん(2A)、菊地由希菜さん(2D)はこの団体に所属しており、5月初旬に不要なマスクを回収して必要としている施設に届けた。CANPASSは、現在高校生18人で活動中。2人は、代表者の紹介で自分達も手助けしたいと思い、このボランティア団体に参加したそうだ。具体的には「マスク橋渡しBOX」という箱を十勝管内に設置。BOXは声を掛けてくれた人や、自らの回収できる範囲の帯広・音更・芽室の3箇所に設置しているとのこと。2人は「このボランティアに参加してとても良い経験させてもらった」と語った。

コロナ対策 生徒総会 終了
[6月5日]



今年の前期生徒総会は放送室から各教室に向け放送する「コロナ対策」で行われた。生徒会会長の小野菜々さん(3D)は「初の試み。成功するか心配だった」と語った。準備に携わった放送局長の市岡倫果さん(3C)は「前日のリハーサルも大変だったが楽しかった」と語った。(佐藤)

編集後記

白雲山やボリスを
とる3年部員(昨年)



ようやく通常授業に戻り、クラスがより賑やかに感じます。ですが、最近雨が降ったり、気温が上がり蒸し暑かったりと、天気の移り変わりが激しいので要注意。マスクを熱くなっているはず。水分補給しながら体調には

高体連 コロナの影響で中止

- 顧問
局長 五十嵐千歳 (3A)
副局長 小川 結衣 (3C)
戸塚 智恵 (3D)
奥山 惟碧 (2D)
松井陽花莉 (1A)
長尾 紗和 (1B)
奥村 愛可 (1C)
木村 空 (1C)
佐藤 力也 (1C)
山口 和真 (1D)
石森由香利 (1D)
横濱 優子